

## 第2分科会「組織・運営」 運営概要

- |   |
|---|
| <b>【研究課題】</b> 学校経営ビジョンの実現と活力ある組織づくりにおける校長の在り方 |
| <b>【研究の視点】</b> 1. 学校経営ビジョンの実現に向けた運営組織の構築      |
| 2. 活力ある運営を実現するための組織の活性化                       |

### I 分科会研究協議の運営計画

校長には、子どもたちに新しい時代に必要となる資質・能力を育むとともに、教育改革の中で示された新たな課題への対応を含め、今後の我が国の教育の方向を見据え、学校経営を進めることが求められている。そのためには、差し迫る課題に取り組み、子どもたちにより良い教育を提供できるように教育活動の成果を検証し、学校運営を改善することにより、教育水準の向上を継続的に図ることが必要である。さらに、学校運営に対し、適切に説明責任を果たすとともに、保護者・地域住民等から理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携・協働による学校づくりを進めることが期待される。

また、学校運営には、不易と流行を踏まえ、将来を見据えた明確な学校経営ビジョンに基づく教育活動を推進する組織が求められており、教育課程の改善のみならず、それを実現する学校の体制整備が不可欠である。そのためには、校長は、学校教育目標の実現を目指し、リーダーシップを適切に発揮する必要がある。さらに、学校経営ビジョンを明確に示し、教職員が課題と実現に向けた具体策を理解できるよう働きかけ、目標達成に向けて組織として教育活動に取り組む体制を創り上げるとともに、活力ある運営組織を構築する必要がある。

学校が教育課題に積極的かつ柔軟に対応するためには、学校組織を活性化し、教職員個々の意識の高揚を図り、教職員がもつ資質・能力を引き出し高める組織の在り方や体制づくりが求められる。

本分科会では、校長の示す学校経営ビジョンの実現を図るための活力ある組織づくり及び組織を運営していくための具体的方策と成果を明らかにする。

<b>視 点 1 学校経営ビジョンの実現に向けた運営組織の構築</b>
-------------------------------------

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・教職員が自らの使命を自覚し意識の高揚を図る校務組織の構築</li><li>・組織的、協働的な学校運営に向けた組織運営体制・指導体制の充実</li></ul> |
|---|

<b>視 点 2 活力ある運営を実現するための組織の活性化</b>
-----------------------------------

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・自己の資質向上が実感できる体制づくり</li><li>・学校職員間におけるコミュニケーションの確立</li></ul> |
|--|

### II 昨年度までの成果・課題

**【成果】**視点1…校長の学校経営ビジョンの実現に向けた運営組織の構築のためには、将来を見据えた明確な学校経営ビジョンに基づき教育活動を推進する組織が必要である。学力向上の実効性のある取組など、校長会の高い課題意識と教職員の意識向上を図る校務体制の構築、組織運営体制・指導体制の充実について確認できた。

視点2…活力ある学校運営を実現するためには、状況に応じた校長のリーダーシップとマネジメントの機能や効果を意図的に区別して働きかけていく。そのためには、状況の適切な見極めが必要であることを確認できた。

**【課題】**視点1…若年化してくる教員集団をより質の高い指導に触れさせるとともに、校長会組織の細やかな調整や活動を効果的に進めていかなければならない。

視点2…学校への要請と働き方改革を踏まえた組織マネジメントを、我が国の教育の方向を見据えた学校経営で進めなければならない。

### Ⅲ 研究発表の概要

#### 学校経営ビジョンの実現に向けた運営組織の構築

◇研究発表者：上川地区 美瑛町立明德小学校 校長 佐藤 徹

「校長の経営ビジョンの発揮と具体的な取組へのアプローチについて」

～『チーム美瑛』を意識した美瑛町校長会の取組～

#### ◇発表の趣旨

学校においては、新しい社会や経済に対応する力の育成だけではなく、変化の背景や本質を見抜き、主体的に社会に参画していく力を育成していくことが必要である。そのために、校長の学校経営マネジメントを強化していくとともに、次代を担う子どもたちに質の高い教育を推進、また、教職員の専門性を高め、組織として教育活動に取り組んでいく体制をつくり、活力ある運営組織の構築が重要。

美瑛町校長会では、「チーム美瑛」をキーワードとして、児童・生徒、あるいは校内の様々な情報を交流・共有するとともに、課題については共同、協同、そして協働できる組織を目指してきた。教育委員会と連携を密にし、目指す方向性を一致・共有し推進し、特別支援教育、町教育推進協議会、小中連携、先進地研修などに関わることについて、意見交流や調整を行ってきた。

### Ⅳ 協議の流れ

1	開会・日程確認	13:00～13:05	(5分)	
2	趣旨説明 (10分)	13:05～13:15	(10分)	
3	研究発表 (25分)	13:15～13:40	(25分)	
4	全体協議 (15分)	13:40～14:00	(20分)	
5	休憩	14:00～14:15	(15分)	
6	グループ協議	14:15～15:35	(80分・休憩含む)	…討議の柱に沿った意見交流
7	グループ発表	15:35～16:10	(35分)	…1グループ3～5分の発表
8	まとめと今後の課題	16:10～16:25	(15分)	
9	連絡・閉会	16:25～16:30	(5分)	

### Ⅴ 討議の柱

【視点1】「校長の学校経営ビジョンの実現に向けた運営組織はどうあるべきか。」

【視点2】「活力ある学校運営を実現するために校長の組織マネジメントはどうあるべきか。」

キーワード：学校運営組織の再構築，人材育成・教職員の資質向上，グランドデザイン，学力・体力向上

校務分掌組織の改善，校内の・連携協働体制の確立，ミドルリーダーなどの人材育成，

校長のリーダーシップ，組織マネジメント，働き方改革

### Ⅵ お願い

◇グループ内で名刺交換を行いますので10枚程度お持ちください。

◇グループ内での司会・記録を事前にお願ひしようと考えています。依頼があった際にはお引き受けくださいますようお願いいたします。

◇各地区・各校の現状や取組についてグループ討議の中で交流します。

◇話題にしたい自校の学校経営を端的にまとめたグランドデザインや学力向上ロードマップ，学校運営組織図などの資料（A4版 1枚程度 表裏印刷可）がありましたら、10部お持ちよりください。

◇服装は、ノーネクタイ＋上着ありのクールビズを基本といたします。